

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読みください。

【マークの見方】

- △ この表示は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。
- ⊘ この表示は「してはいけない禁止」内容です。
- ❗ この表示は「必ず実施していただく」指示内容です。

【お得意様へのお願い】

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項や、お手入れ方法などの重要な内容を、この施工説明書に記載しております。施工後は必ずお施主様に手渡ししていただきますようお願いいたします。

■ ご使用上のご注意

- △ 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。扉の反り、変色などの原因になります。
- ⊘ 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないでください。表面が傷む恐れがあります。
- ⊘ 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。
- ⊘ 扉の開閉にあたっては、丁番側の隙間に手を置かないでください。指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- △ 扉の開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ⊘ 安全のため、破損・変形した扉は、使用しないでください。

■ 施工上のご注意

- ❗ 造作材・建具枠の地下材には、必ず乾燥材（含水率19%以下）を使用し、湿潤材（グリーン材）は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理してから施工してください。
- ⊘ 枠の組み立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- △ 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間を作り、かい木を入れてください。かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- ⊘ 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に貼らないでください。剥がす際に表面が破損する恐れがあります。
- ⊘ 発熱燈付近には取り付けしないでください。熱により、部品が変形する恐れがあります。

■ 点検・お手入れについて

1. 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で空拭きしてください。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。外部から入ったことも考えられますので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
3. 建付け調整は必ず手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用した場合、ネジ頭が壊れる恐れがあります。
4. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの状況を確認してください。ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談してください。

はじめに

荷物が到着しましたら、直ちにキズの有無を確認してください。運送中に発生したキズなどがございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。《施工後は当社では責任を負いかねます。》



■ 部品表 (組み立て前に必ずご確認ください。)

◎ 枠同梱部材 ※以下は三方枠仕様の場合の数量。()内は四方枠仕様の場合。

| 枠品番 | 縦枠 | 上枠 | 下枠 | 枠固定用ビス (3.8×51) | 下部マグネット (ビス付) | ビス隠しキャップ | 木口シール |
|---------------------------------|----|----|-------|-----------------|---------------|----------|-------|
| P1S 3 or 4 SN (R/L) 三方枠/四方枠 サイズ | | | | | | | |
| W H サイズ品番 | | | | | | | |
| 385 900/1200 11/12 | 2 | 1 | (1) ※ | 12 (18) | - | 10 | 1 |
| 1800/2024 13/14 | 2 | 1 | (1) ※ | 14 (20) | - | 10 (12) | - |
| 2328 15 | 2 | 1 | (1) ※ | 14 (20) | 1 | 10 (12) | - |
| 569 2024 24 | 2 | 1 | (1) ※ | 14 (20) | 1 | 10 (12) | - |

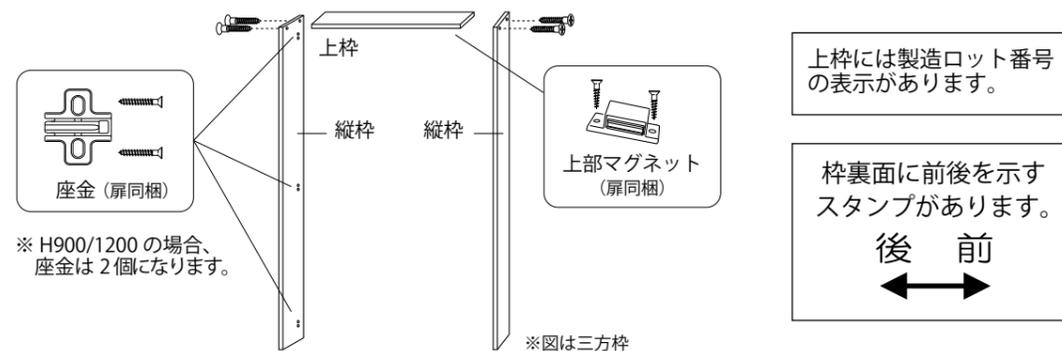
◎ 扉同梱部材

| 扉品番 | 扉 | ヒンジ | 座金 (ビス付) | 上部マグネット (ビス付) | ハンドル |
|-------------------|---|-----|----------|---------------|------|
| P1STSN (R/L) サイズ | | | | | |
| DW DH サイズ品番 | | | | | |
| 345 867/167 11/12 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| 1767/1991 13/14 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 |
| 2295 15 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 |
| 529 1991 24 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 |

■ 施工手順

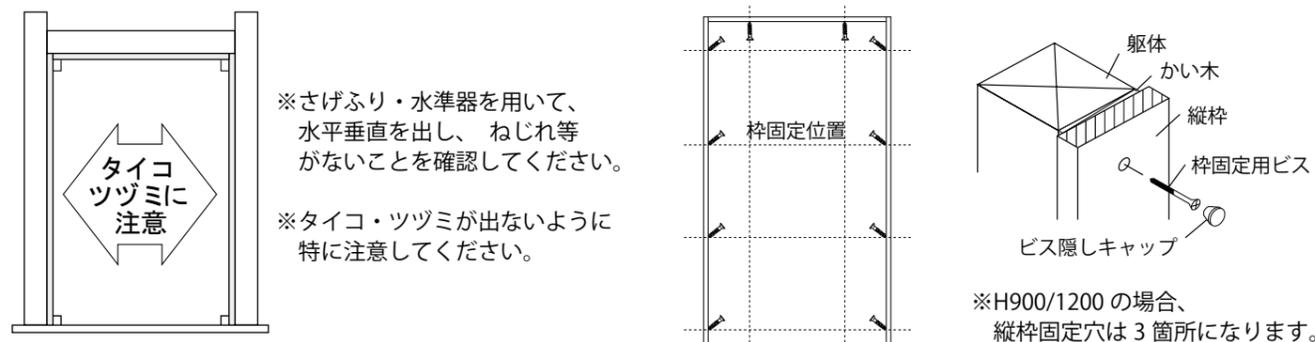
1 枠の組み立て

- (1) 上枠にマグネット（扉同梱）、縦枠に座金（扉同梱）を取り付けます。
- (2) 枠の前後に注意して、枠固定用ビスで固定しフレームを作ります。



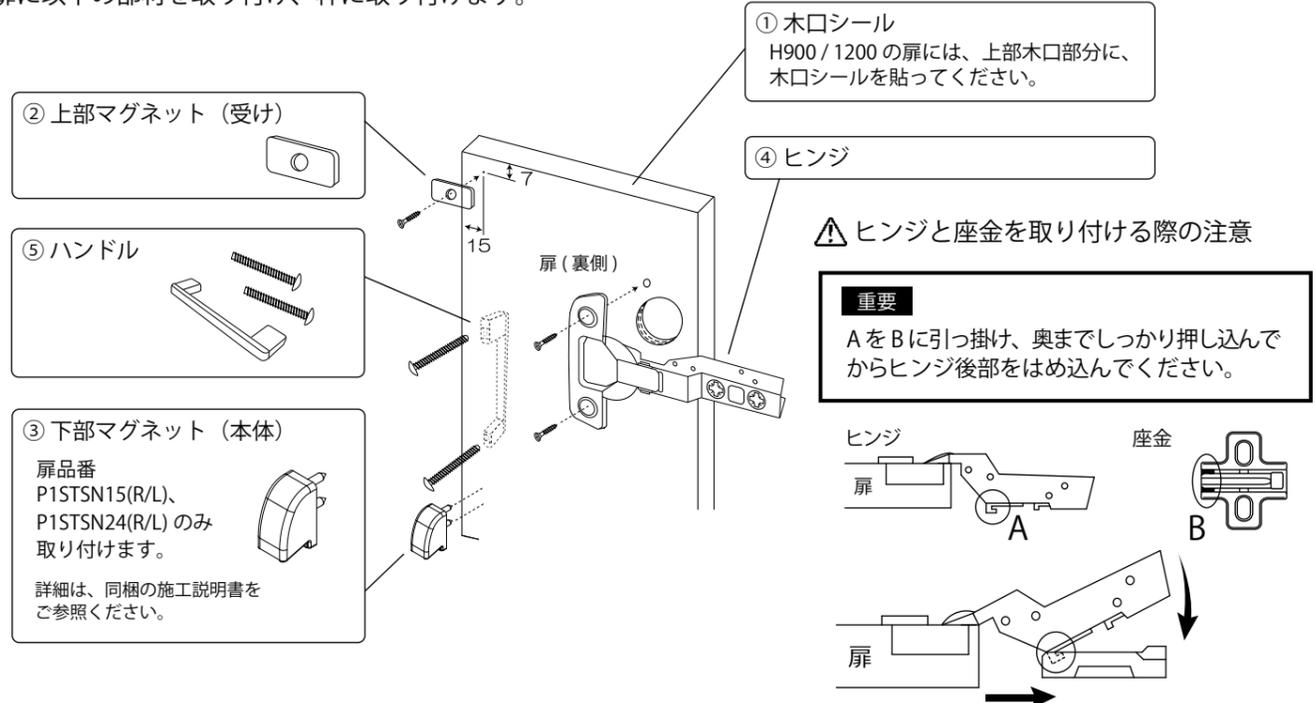
2 枠の取り付け

- (1) フレームを柱間に入れます。
- (2) 枠組ビスで固定し、ビス隠しキャップをはめ込みます。



3 扉の取り付け

扉に以下の部材を取り付け、枠に取り付けます。

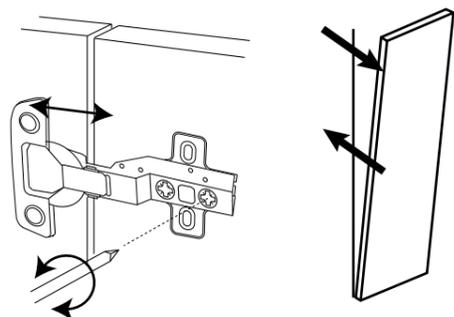


扉の調整

※扉の調整は必ず、手回しドライバー（NO:2 サイズ）を使用してください。

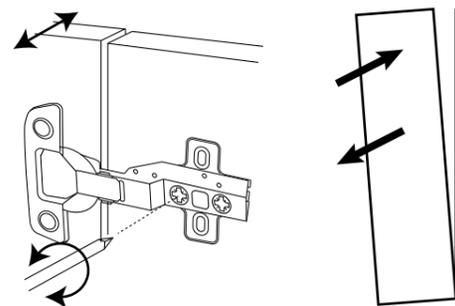
※電動ドライバーは、使用しないでください。ネジ頭が壊れるおそれがあります。

● 扉の前後調整（3mm）



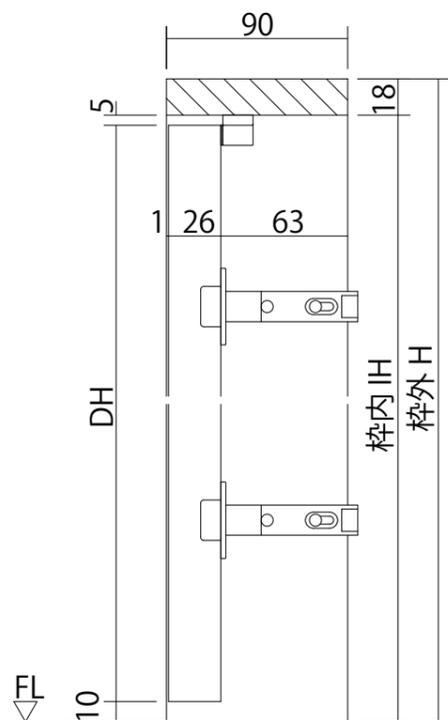
座金の固定ネジをゆるめ、前後の調整をした後、締め直してください。

● 扉の左右調整（4mm）

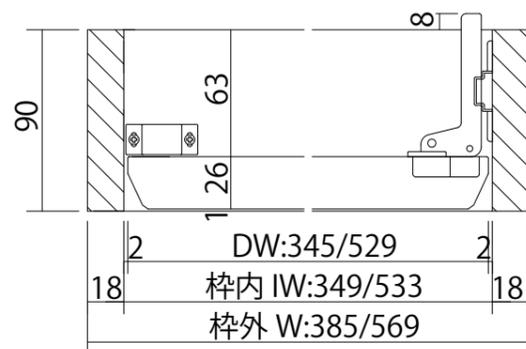


座金の固定ネジを締めたままで、ヒンジの調整ネジを回して左右調整をした後、念の為、座金の固定ネジを締め直してください。

寸法図



| DH | IH | H | スライドヒンジ |
|------|------|------|---------|
| 867 | 882 | 900 | 2ヶ所 |
| 1167 | 1182 | 1200 | 2ヶ所 |
| 1767 | 1782 | 1800 | 3ヶ所 |
| 1991 | 2006 | 2024 | 3ヶ所 |
| 2295 | 2310 | 2328 | 3ヶ所 |



(単位：mm)